



# ゆのはな

すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現

第26号

2024年1月

BRCだより



## 新春のご挨拶

「もてなしも  
リハも一番  
別府リハ」



センター長  
(病院長)  
青野 只明

新年おめでとうございます。令和六年、当センター設立五十一年目の新春を迎えるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンターをご利用いただいている利用者様・ご家族・関係機関の皆様には、平素よりご厚情を賜り心から感謝を申し上げます。

昨年から新型コロナウイルス感染症も季節性インフルエンザ相当の対応となり、別府も観光客で賑わいを取り戻してきております。そこで、別府観光の父、油屋熊八翁の「山は富士 海は瀬戸内 湯は別府」に倣って、当センター病院のキャッチフレーズを作ってみました。

「もてなしもリハも一番 別府リハ」利用者様に対し、親切・丁寧にかかわり、リハビリ提供でも地域で一番を目指すという意匠を込めました。

理想は九州一ですが、まずは大分一を目指します。身近な方のリハビリが必要になったときに「リハビリ一番、別府リハ」と当センターを第一に思い浮かべ選んでいただけるように職員一同精進してまいります。

最後に長期にわたり感染管理にご協力いただいておりますことにご心から感謝申し上げます。ウクライナやイスラエル・パレスチナ問題ははじめ、争いなどのない、みんなで助け合える平和な世の中が一日も早く訪れますことを祈念して年頭のご挨拶とさせていただきます。

令和六年一月

### ゆのはな 第26号<もくじ>

- ・〔巻頭言〕 新春のご挨拶 センター長 青野只明
- ・利用者インタビュー「古長祐治さん」 / センター広報誌紹介
- ・2023年度「入院生活に関するアンケート調査結果」報告
- ・外来リハビリテーションの紹介



# Close-Up センター職員インタビュー 病気を乗り越え就労へ♪

障害者支援施設「にじ」での、リハビリテーションを終えて、別府リハビリテーションセンターの職員として元気に働かれている「古長祐治さん」をご紹介します。



古長祐治さん

## ■ 発症から現在までの経緯 ■

古長さんは約4年前に仕事中に病気を発症し、大分市内の回復期病院にて、半年間リハビリテーションを実施されました。前職を退職後、再び働きたい!と就労を目指し、別府リハビリ障害者支援施設「にじ」に入所され、就労移行支援にて就労を目指しリハビリテーションをおこないました。

途中で腰を痛めるなど怪我にも悩まされましたが、就労移行支援を継続した結果、昨年10月に別府リハビリの職員として就労が決まりました。

病気の後遺症により、右半身の麻痺、言葉の出し難さがありますが、当センター訓練室内の機器の清掃、消毒など丁寧に作業をおこなっています。

## インタビュー

65歳まで元気に働きたいとおっしゃる古長さんにインタビューをおこないました。

山本:今の生活で何か大変なことや困っていることはないですか?

古長:特に困ることはありません!

山本:今の一番の楽しみは何ですか?

古長:休日にゆっくり映画を見ること!

山本:「にじ」を経験して良かったことは?

古長:色々あり過ぎて一言では言えません!

お仕事とご自分の生活を楽んでいる古長さん。これからも健康に気を付けて、一緒に頑張ってください。(インタビュー担当:作業療法士山本)

## ご本人の良い所ご紹介

- 人が見ていなくても、手を抜かないところ!
- 体調管理ができ、体調を崩さないところ!

「にじ」作業療法士 笹原より



訓練室の機器や器具等の清掃・消毒作業の様子



休憩も大切です

## ■ 広報誌「バックナンバー」について ■

当センターは、医療・福祉・介護部門があり、診療部門広報誌「ゆのはな」、福祉部門広報誌「にじだより」、介護部門広報誌「通りハ・訪問リハ」等の広報誌を定期的に発行しています。

各広報誌はホームページからも閲覧できます。過去の広報誌のバックナンバーも閲覧可能です。右のQRコードにアクセスしてください。



診療部門  
広報誌  
「ゆのはな」



社会福祉部門  
広報誌  
「にじだより」



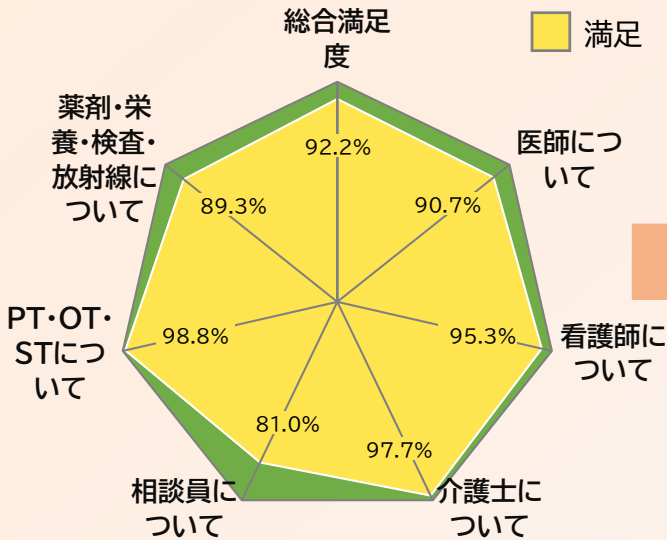
介護保険部門  
広報誌  
「通りハ訪問リハ」

# 入院生活に関するアンケート調査結果

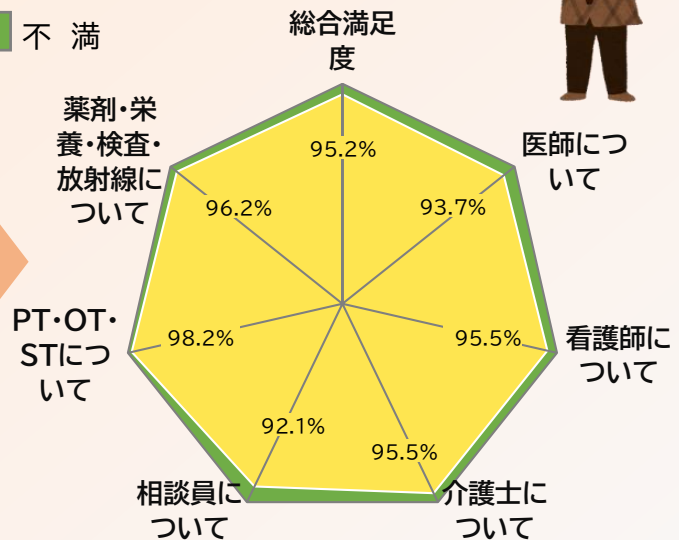


調査協力者数:233名(回答率81.0%)

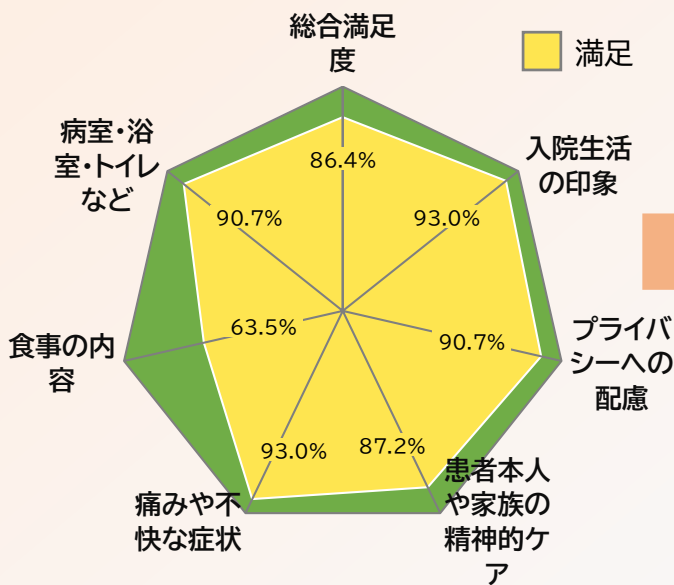
## 職員の対応(令和4年度)



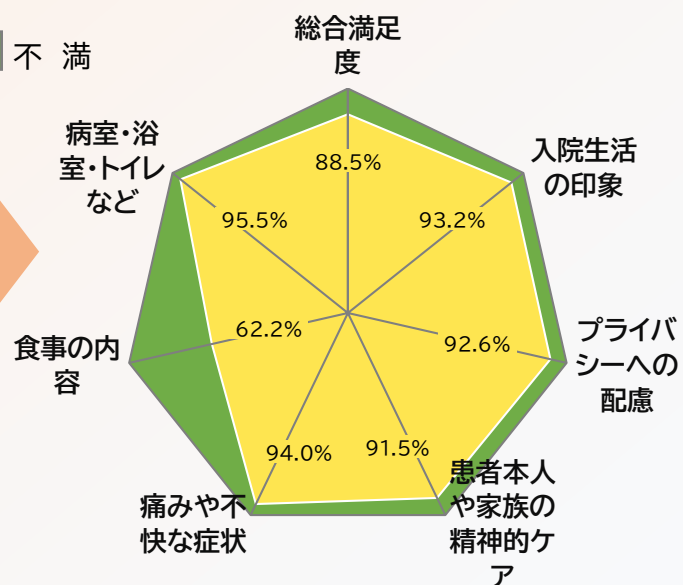
## 職員の対応(令和5年度)



## 入院生活(令和4年度)



## 入院生活(令和5年度)



### 【調査結果について】

回復期リハビリテーション病棟では、「入院生活に関するアンケート調査」を実施しています。令和5年度のアンケート調査結果を報告いたします。

### 【職員の対応について】

令和4年度のデータと比較して、全体的に高い評価をいただきました。「医師をはじめ職員全員の笑顔と対応に、不安なく入院生活を送ることができました。」「チーム全員で、様々な問題点

について相談し解決してくださり入院生活を楽しくおくことができました」などのご感想をいただいています。

### 【入院生活について】

総合的には満足をいただいた印象で、感謝の言葉をたくさんいただきました。一方で、食事の内容については前回と変わらず37.8%の方に満足いただけない結果となりました。また、面会時間について、「新型コロナ対応は分かるが回数や時間が少なく残念でした」

とのご意見もいただきました。

### 【まとめ】

皆様からお寄せいただいた貴重なご意見・ご要望を真摯に受け止め、患者様やご家族とのふれあい・思いやりの心を大切にしながら、環境整備、サービスの向上・改善に取り組んでまいります。調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

医療サービス向上委員会 委員一同



# 外来リハビリテーションの紹介

～ 地域でしあわせに生活をつづけるためのサポートを ～



外来リハビリテーションとは、回復期リハビリテーション病棟や急性期病院を退院された後に日常生活での不自由を感じている方、職場への復帰をめざしたい方などを対象にご提供する、通院でのリハビリテーションです。

別府リハビリでは、リハビリテーション専門医の処方にもとづき、外来リハビ

リテーションスタッフがみなさまの悩みやご要望をお聞きしながらさまざまなリハビリテーションをおこないます。

**ご自宅でもできるリハビリテーションについてもご提案し、住みなれた地域でみなさまに安心して生活していただけようサポートしていきます。**

## < 外来リハビリテーションでの対象疾患 >

	脳血管疾患等リハビリテーション(Ⅰ)	運動器リハビリテーション(Ⅰ)
疾患名	脳出血、脳梗塞、くも膜下出血、脊髄損傷、パーキンソン病 など	腕や足の骨折、関節の変性疾患、末梢神経損傷 など
対象要件(日数)	原則、発症・手術から180日以内の方※	原則、発症・手術から150日以内の方※

※医師が必要と認める場合、これらの日数を超えてリハビリテーションを実施する場合があります。



お問い合わせ先  
外来担当 [0977-67-5888](tel:0977-67-5888)

月～金曜日(※土・日・祝日は休診)  
午前 8:20～12:00 午後1:30～5:00



社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター

日本医療機能評価機構認定病院 / 日本リハビリテーション医学会認定研修施設

製作：診療事業部門  
医療サービス向上委員会

〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10  
TEL:0977-67-1711 FAX:0977-67-1712  
URL:<https://brc.or.jp>

